

【コラソン（児童発達支援）の支援方針】

「あそび」を通じて、自分らしく成長♪

健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言葉・コミュニケーション、人間関係・社会性

《本人支援の5領域》に沿った様々な楽しいプログラムの中で、

『あそび』を通じて、ルールやマナーなど社会スキルの向上を目指していきます。

また、個別支援により、子どもたちが将来、社会生活を円滑に営むために必要な支援を行います。

人と人が関わるどんな瞬間にも学びの機会があると考え、

私たちは一人ひとりのこどもたちの個性に寄り添い支援する事を心がけています。

～プログラム一例（お菓子作り）～

①運動・感覚

スプーンやフォークで食べ物を口元まで運んだり、お玉などの調理器具を使って調理を行う中で、手指の細かい動きを身につける。



②人間関係・社会性

一緒に調理工程に参加することで、仲間づくりや集団への参加を促し、周囲の人と安定した関係を築く。



⑤認知・行動

食材に触れることで、物の大小や色の違いを理解する。

調理工程をイラストや写真を見ながら、

取り組むことで認知過程の発達へつなげる。

③健康・生活

エプロン・バンダナ等の衣類の着脱や食具を使った食事を通して、生活に必要な基本的技能を身につける。

食材のパッケージを見て、食べる頻度や量を考えてみる。好奇心から、食育への興味につなげていく。

～お菓子作りのプログラム～

スポンジケーキを人数分に切り分け。

ホイップクリームを泡立てたり、フルーツを切り分け、材料をデコレーション。

完成したら、みんないただきます♪

④言葉・コミュニケーション

食材や食具、調理器具の名前を覚えることで言葉を学ぶ。

物の貸し借り等を通して、他者とのコミュニケーションに触れる。